

●江戸時代の土木技術者 津田永忠●

児島湾締切堤防で締切られたエリア外でも古くから干拓は行われており、備前岡山藩重臣の津田永忠らによって沖新田1,900haをはじめとする大規模干拓が行われ、江戸時代だけで約6,800haの新田が生み出されました。



津田永忠（1640-1707）

津田永忠は1640年（寛永17年）岡山に生まれました。倉田新田や沖新田の造成、倉安川や百間川※の開削等数々の一大土木事業を手がけました。

「児島湖 過去から未来へ 岡山海岸保全事業のあゆみ より」

※令和元年に「倉安川・百間川かんがい排水施設群」として、世界かんがい施設遺産に登録されました。



①倉田新田・沖新田概要図

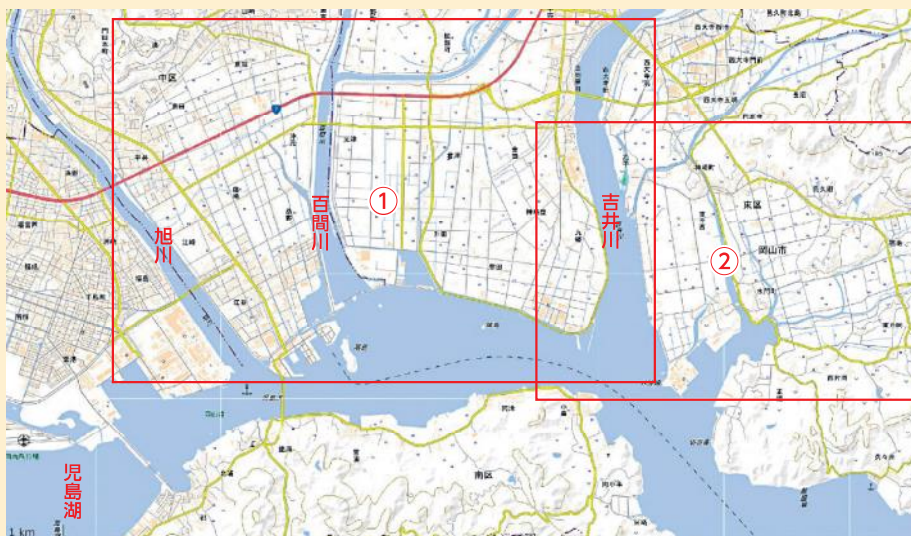
池田光政が津田永忠に命じた最初の藩営新田。この新田には倉田、倉富、倉益の3村が置かれました。この新田の用水として開削されたのが倉安用水です。



②幸島新田概要図

池田綱政の時代になると、吉井川の河口東部にあたる幸島新田に着手しました。新田の排水路末端に大きな遊水池を設け、樋門との組み合わせで排水する新技術が開発されました。

「児島湖読本～どっこい生きている児島湖～ より」



概要図の
現在の位置

※地理院地図を加工して作成

児島湾沿岸地区は、岡山県南部に位置し、児島湾の干拓によって造成された平坦な水田地帯で、岡山市、玉野市、倉敷市の3市にまたがる受益面積約4,320haの農業地域です。

当地区は、世界第2位の人造湖である児島湖を囲むように土地が広がり、東には旭川、中央に笹ヶ瀬川、南部に倉敷川が流れています。南東の児島半島には、瀬戸内海国立公園の一角をなす美しい景観が形成されています。



「児島湾沿岸地区 概要より」

コラム 世界第1位の面積の人造湖は？

児島湖の面積は、ダム湖を除く人造湖の中で世界第2位（約11km²）。世界第1位の人造湖は、1932年に完成したオランダにある「アイセル湖」。その面積はおよそ1200km²と児島湖の100倍以上になります。

そして、児島湖はそのアイセル湖をモデルにして造られました。

営農

干拓地には岡山市の農業の中心を成す穀倉地帯が形成されており、近年では、水稻を中心として二条大麦のほか、施設なす、玉ねぎ、レタス、れんこんといった多様な高収益作物の栽培が展開されています。

干拓によってつくられた 児島湖周辺の農地

「児島湾干拓と児島湾締切堤防より」



収穫間近の 二条大麦畑

「国営総合農地防災事業（大規模地震型）
児島湾沿岸地区計画概要 より」



朝日、アケボノ、ヒノヒカリなどのさまざまな品種のお米
「児島湾締切堤防の概要より」



干拓地に広がるレタス畑
「児島湾周辺農業水利事業 完工記念誌 より」



千両ナス

「児島湾周辺農業水利事業 完工記念誌 より」



「国営総合農地防災事業（大規模地震型）児島湾沿岸地区計画概要 より」

「備南の千両ナス」は、岡山ブランドとして京浜、京阪の市場に出荷し、京都方面では漬物用として重宝され、全国で高評価を受けています。

本地区は山陽地方を代表する大規模優良農業地帯として大きな役割を果たしています。



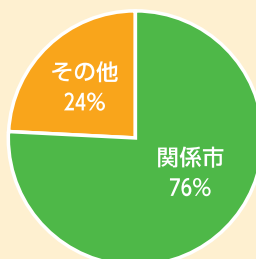
高品質のブランドとして定着した藤田レタス

「JA岡山HP より」

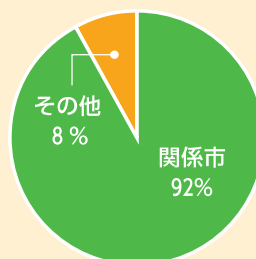
岡山県に占める関係市
(岡山市・玉野市・倉敷市)
の作付面積割合

出典：岡山農林水産統計年報

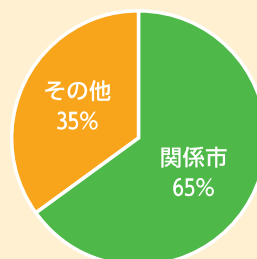
二条大麦 (H27)



冬春なす (H27)



レタス (H27)



新たな農業への取組み

干拓地内では省力・高品質を実現するための取組みが進められています。



ドローンによる薬剤
散布の様子



【ドローン導入による作業の効率化】

圃場での薬剤等の散布作業にドローンを導入し、二条大麦の赤カビ病防除を行っています。これにより、作業負担が軽減され、作業の効率化が図られています。

(有) 国定農産圃場にて

全国に先駆けた先進的な営農の展開

大正9年に岡山県で農業用石油発動機の製造が始まって以降、大正末期から昭和初期にかけて、岡山県産の発動機が一気に増産されました。

石油発動機とバーチカルポンプ※1は、児島湾干拓地に不可欠であるとして、農業の機械化は一気に進展し、児島湾干拓地は岡山県内の農業機械利用の中心として興隆しました。



石油発動機

「岡山シティミュージアムHPより」



バーチカルポンプ※1



全国初のコンバイン現地研究会の開催
(興陽高校) 1964年

「児島湾干拓および農業発達史 より」



当時のコンバイン

「岡山シティミュージアムHPより」

(※1 バーチカルポンプ) 用水路などから田んぼに水をくみ上げるポンプ。「バーチカル」は垂直の意味で、水が垂直に上昇することを表します。

農業用機械製造業※²は岡山県を代表する地場産業となり、昭和11年から12年には全国生産の約60%を占め、アジア・アフリカ・中南米に輸出されるまでになりました。

現在では、石油発動機メーカーの大半は廃業しましたが、岡山県は今日でも農業用機械製造業（製品出荷額等）の全国シェア9.6%（平成30年）を占めています。干拓地農業とともに発展した農業機械製造は、現在でも最先端の独創的な製品を開発・生産し、他県をリードしています。

農業用機械製造業の県別順位（平成30年）

順位	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
		事業所	全国比(%)		人	全国比(%)		億円	全国比(%)
1	大 阪	75	11.5	茨 城	2,973	10.9	茨 城	2,664	27.9
2	北海道	68	10.4	大 阪	2,203	8.1	栃 木	939	9.8
3	岡 山	55	8.4	岡 山	2,115	7.8	岡 山	917	9.6
4	新 潟	37	5.7	愛 媛	1,834	6.7	大 阪	559	5.9
5	兵 庫	29	4.4	北海道	1,794	6.6	愛 媛	551	5.8
6	長 野	28	4.3	栃 木	1,535	5.6	北海道	475	5.0
6	愛 媛	28	4.3	広 島	1,290	4.7	長 野	419	4.4
7	茨 城	25	3.8	長 野	1,271	4.7	静 岡	263	2.8
7	栃 木	25	3.8	高 知	1,136	4.2	広 島	256	2.7
8	愛 知	23	3.5	新 潟	1,075	4.0	高 知	225	2.4
9	高 知	22	3.4						
10	静 岡	21	3.2						
	全 国	654	100.0	全 国	27,187	100.0	全 国	9,550	100.0

※経済産業省「工業統計調査・産業分類別統計表」（都道府県別表）に基づき作成

（※2 農業用機械製造業）主に耕うん、整地、栽培、収穫、その他農業用に使用される機械を製造する産業のこと。

生活

岡山平野南部地域は、広域交通の要所です。東西にJR山陽本線、山陽新幹線及び国道2号線が、南北にJR宇野みなと線、瀬戸大橋線及び国道30号線が走っているほか、児島湾締切堤防が岡山市街と玉野市を結んでいます。また宇野みなと線の終着駅（宇野駅）には宇野港が位置し、児島湖の北側には岡南飛行場もあります。

沿線を中心に住宅地が形成されており、飲食店や工場なども立ち並びます。近年では大型商業施設もでき、多くの人が集まるようになりました。また、浦安総合公園、灘崎町総合公園などの公園やスポーツ施設も整い、子育て環境の面でも充実しています。



岡山県緊急輸送道路※1に設定されている国道30号線



(※1 緊急輸送道路) 災害発生時に救助・救急・医療・消火活動及び避難者への救援物資の供給等に必要な人員及び物資等の緊急輸送を確保するために必要な道路。